

第46回 高橋記念賞

高橋記念賞は、故高橋愛次氏の功労を記念し、扶桑軽合金株式会社（現 株式会社アーレスティ）より寄贈された基金により、軽金属鋳物、ダイカスト、展伸材、二次合金および再生地金等の溶解・鋳造に関連する工業技術の進歩発展に功労のあった技能者に贈る。



秋田 郁夫 君
(YKK AP 株式会社)

秋田 郁夫 君は、1984年吉田工業株式会社（現 YKK AP株式会社）に入社以来、現在に至るまでの39年間アルミニウム合金の溶解、鋳造作業に従事してきた。この間積極的に品質、生産性、安全と職場環境の向上に取り組み顕著な業績を挙げてきた。特に1997年、黒部鋳造工場の再構築においては、「21世紀に通ずる鋳造工場」をコンセプトに溶解炉への材料投入をはじめとした自動化ラインを実現するため様々な検証を行い、他に類を見ないライン設計を具現化した。また現在では一般的なリジェネレーターを先駆けて導入し、エネルギー原単位を大幅に改善した。再構築後も炉底式電磁スターラーを導入し燃料原単位を削減するとともに、大型型材の増販に伴う14インチビレット増産に対し、鋳造テーブルの更新、自動吊出機などライン設備も合わせた改造を行っており、鋳造工程の技術発展に大いに貢献した。近年においてはSDGs、カーボンニュートラルの実現に向けて、アルミリサイクルの推進およびエネルギー使用量の削減に努めており、現在もアルミリサイクルや環境改善業務に携わりながら、公害防止管理者、エネルギー管理士の有資格者として科学的基礎知識に裏付けされた広範な技能を駆使し、次の時代を担う若手作業者の育成や鋳造技能の伝承に尽力している。



中川 和之 君
(株式会社UACJ)

中川 和之 君は、1991年に古河アルミニウム工業株式会社（現 株式会社UACJ）に入社以来、一貫して圧延用アルミニウムスラブの製造に従事してきた。機械の原理や現象の真因の理論的な把握に優れ、入社前年度に立ち上がった最新鋭の鋳造機にてスラブの生産に従事し、生産量増に大きく貢献した。さらに、生産活動の基本は『人』であり『人を育てる』に重きを置き人材育成のための業務を遂行した。標準書の改訂・作成を進め、それを基にしたOJT教育を実施して職場メンバーの知識・技量向上に努め、その結果、生産性向上に大きく寄与した。2018年からは鋳造職場の職場長として、幅広い知識・経験を活かし積極的に各種改善に取り組み多くの成果を上げている。特筆すべきは、よりよい鋳造現場の実現に向けて、鋳造職場内の垣根を越えた安全に対するコミュニケーションを重視した活動を進めている。



野崎 進一 君
(日軽松尾株式会社)

野崎 進一 君は、1985年から日本軽金属株式会社の鋳造業務（現 日軽松尾株式会社）に携わり続け38年間、アルミニウム合金の鋳造における溶解、鋳造、後工程、熱処理、検査、金型など多くの業務に従事してきた。鋳造の実務作業を行うだけでなく、品質改善や生産性の改善、また自分自身が先頭に立ち組織のリーダーとして周囲を引っ張り、日本軽金属の鋳造部門の中心的な役割を担ってきた。特に、2000年に量産立上げとなったパイプ鋳包みブレーキキャリアパーにおいては、開発メンバーの1人して活躍するだけでなく、立上げ後の量産品質の安定まで関わった。このパイプ鋳包みブレーキキャリアパーは、従来加工で形成していた油路をアルミパイプを鋳包むことにより形成するという世界初量産となる高い技術を有した鋳造品である。さらに、独自の鋳造技術を活かし難鋳造品の高品質、高生産性の達成に貢献してきた。近年は、金型のメンテナンス業務に従事しながらこれまでの経験と知識を基礎に後進の指導に力を注いでいる。



八木 浩一 君
(株式会社アーレスティ)

八木 浩一 君は、2001年に株式会社アーレスティに入社した。鋳造課での実務経験を経て、鋳造技術一筋で業務に邁進してきた。ダイカストの課題解決に統計解析の手法を取り入れ、従来の鋳造技術スキル（方案や条件）と併せて、数々の問題を解決しダイカストの進歩と発展に貢献をした。2017年には、ダイカスト肉厚部の鋳巣不良の対策に取り組み、統計解析の手法のひとつである応答局面法を用いて、不良低減に影響がある2条件の水準を最適化し、不良率の低減と安定化を達成した。2018年には、ダイカストの減圧法において、スリーブチップからの空気の吸い込みが品質に悪影響を与えていることを見出し、リングチップを用いるなどをした空気の吸い込みをなくす対策を実施して不良率の低減を達成した。また、リングチップのメンテナンス方法の標準化を行い、リングチップの寿命延長などの改善による原価低減にも貢献した。さらに、日本国内での活躍だけでなく、メキシコ工場の立ち上げと生産性改善にも携わり、グローバルにダイカスト技術の進歩、発展に貢献している。